

# ひまわり



令和3年1月12日(月)

## 風のように過ごす



「襲名（しゅうめい）もあるかないか分からない。オリンピックもあるかないか分からない。あるかないか分からないから、何事にもとらわれずに、風のように一年間を過ごすっていうのがテーマかな」

歌舞伎役者の市川海老蔵さんが、テレビ番組の中で語った言葉です。歌舞伎は400年以上の歴史をもつ日本の伝統芸能。「襲名」とは、師匠の芸名をつぐことです。昨年、海老蔵さんは「市川團十郎白猿（いちかわだんじゅうろうはくえん）」という芸名をつぐ予定でした。ちなみに、息子の堀越勸玄（ほりこしかんげん）さんは「市川新之助」という芸名をつぐ予定で、親子での襲名に多くのファンは期待を膨らませていました。しかし、新型コロナの影響で延期となりました。

襲名披露は一大行事。襲名が延期された時には、海老蔵さんの心中には複雑なものがあったのではないでしょうか。しかし、海老蔵さんはそれを昇華し、物事にとらわれない境地に達したのからこそ、このような言葉が出たのではと察します。

禅の思想に「放下着（ほうげじやく）」という言葉があります。「放下」は放り投げること、「着」はそれを強調する語です。つまり、捨ててしまえという意味になります。

これは、何を捨てることを意味するのでしょうか。私なりの解釈を述べます。一つは「とらわれの心」。ここで言うとらわれとは、「〇〇だったら良かったのに」という、自分の思いと現実の乖離（かいり）に悩む心。もう一つは「比べる心」。他人と自分を比べて羨（うらや）む心を持つことは、自分自身を悩ませ、劣等感の増幅にもつながります。

それでは、どうすればよいのでしょうか。「今はうまくいっていないが、こつこつ頑張れば何とかなる=現実肯定と持続可能な努力」「自分は自分、人は人、自分のよさを生かして前向きに進んでいこう=心を内（とりわけ自分の長所）に向ける」という考え方を持つことが大切です。

海老蔵さんの言う「風のように過ごす」とは、このようなことではないかと思います。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。  
【東住吉中学校】で検索



